議 事 録

１ 会議の名称 令和６年度第１回熊取町地域福祉計画策定委員会、熊取町地域福祉活動計画

策定委員会

２ 開催日時 令和７年１月２１日（火）１３時３０分～１４時４０分

３ 開催場所 熊取町ふれあいセンター　３階　臨時会議室Ａ

４ 議題 案件１　熊取町第４次地域福祉計画および第４次地域福祉活動計画における進

捗状況の検証等について

案件２　熊取町第５次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況検証シート

（案）について

５ 公開・非公開の別 公開

６ 傍聴者数 ０名

７ 審議の概要

**案件１　熊取町第４次地域福祉計画および第４次地域福祉活動計画における進捗状況の検証等**

**について**

熊取町第４次地域福祉計画・熊取町第４次地域福祉活動計画【概要版】の基本理念及

び資料６の読み上げを行い、資料６及び現計画達成状況調査シートについて各委員から

の質疑、意見等

　　　　　・熊取町第４次地域福祉計画・熊取町第４次地域福祉活動計画内の事業については継

続中であるのか。

　　　　　　（町）現在も継続中である。

　　　　　・移送支援とはなにか。

　　　　　　（社協）社協が行っている『移送支援サービス』である。対象者は、要支援１・２

に認定された方、または７５歳以上の方が利用出来るものである。買い物、病院、自宅から希望の場所までの送迎を行っているものである。運行としては、１日に４枠、平日月曜日から金曜日である。令和５年度の実績は６９５回、利用登録は１８６世帯、２１４名が登録しているサービスである。

　　　　　・災害時のボランティアとのつながり、準備について。介護者家族の会として手伝える

ことはないか。

　　　　　　（社協）災害に備えての『災害ボランティア登録制度』を行っている。令和５年度

末では個人登録者が３３名、グループ登録が２グループとなっている。復旧につ

いての『災害ボランティアセンターの運営』を社協が行い、災害が起こった際

の『災害ボランティアセンター運営訓練』や災害地へ赴く際に必要なスキルを学

ぶ『災害ボランティア研修』を年間を通して計画をしている。介護者家族の会へ

の協力・要請は現時点では想定しておりません。

　　　　　・災害ボランティアのシミュレーションは行っているのか。また、実施内容のアップデ

ートは行っているのか。

　　　　　　（社協）令和６年度は未実施。実施内容のアップデートに関しては行えていない。今後の検討課題である。

　　　　　・検討課題とするなら、内容を具体的にし、アップデートの中身を考慮し、策定する必

要がある。その道順を具体的に示す必要がある。介護者家族の会からの申し出を取り

込んでいくのが良い。家高委員は災害の専門なので、話を聞くことも必要である。

　　　　　・福祉専門員等の連携、避難行動要支援者の情報の聞き取りについては、町内のケアマ

ネージャー連絡会でも話題に上がる。通常業務もあり、情報の聞き取りまでをケアマ

ネージャーが担うのは負担増のため、町の方で担って欲しいと、話題に上がることが

多い。ケアマネージャー成り手不足という問題もあるが、協力依頼し賛同してもらえ

るのか。

　　　　　　（町）町ができること、ケアマネージャーに依頼したいこと、きちんと色分けし、

ご協力をお願いしたい。ケアマネージャー連絡会でも説明を再度行う。

　　　　　・住宅支援が必要な状態に陥った場合の対応についての対応はどうなのか。

　　　　　　（町）ＣＳＷの方で町営・府営住宅の現状の状況把握、申請の同行等、寄り添った

支援を行っている。民間の賃貸住宅への入居は難しい。

　　　　　・住宅支援が必要な状態に陥った方が増える可能性が高い、一人暮らし高齢者の場合、

法律が間に合わない。ＣＳＷがカバーしているが、システム的な検討ができないか。

　　　　　　（町）現状、大阪府においても業務・進め方について各市町村への説明を行う予定

である。国においても支援に関われる事業者をホームページに掲載しており、町

内には対象事業者がないが、岸和田以南に数社、対象事業があるため、対応を検

討している。

　　　　　・専門的な機関との連携による包括支援体制の充実において、困難なケースが様々あ

り、多様な専門機関、泉佐野保健所や大阪府女性相談センターと連携しながら、問題

解決を図って行ったと報告がある。気になるのが『現計画達成状況調査シート』内の

基本目標３（２）３/５の地域ケア会議の報告において達成度Ｃである。困難課題に

取り組んではいるが、地域が抱えている問題を抽出するには至っていないため、評

価Ｃだと思われる。困難化していく原因分析を含めて、その原因を一つ一つ可視化

して潰していく作業が必要ではないか。出来る限り終結した問題については、掘り

下げていく、原因を考えていく地域ケア会議の開催の流れを作って欲しい。

（町）地域ケア会議は介護保険課で実施している。生活福祉課も関係機関として関

わっている。地域の問題の可視化までは至っていないが、困難事例が発生して際、目先のものから対処していくのが優先的になっている所はあるため、さらに掘り

下げてアウトリーチを活かしながら、地域の課題や目には見えていない問題につ

いてあぶり出しを行い、困難事例になる前に取り組んでいけるシステムや取り組

みを第５次計画の期間中に進めていきたい。

　　　　　・熊取町地域包括支援センターは、困難事例でも解決しているため、困難事例として上

がってこなかった。上がってこなかったため、会議を開催しなかったので、評価Ｃと

なっている。

　　　　　・制度の狭間について、どのようにアプローチ出来ているのか。

　　　　　　（社協）地域づくり支援員２名が、地域の課題について地域に赴きアプローチして

いる。一番多い問題としては、８０・５０問題の親子関係や引きこもり関係で

ある。

　　　　　・どこからの相談が多いのか。

　　　　　　（社協）地域の福祉委員、民生委員からが多い。

　　　　　・社協の窓口での広報はどうなっているのか。

　　　　　　（社協）社協だよりにて広報している。

　　　　　・親の介護に直面した際の問題が多くある。直面した子が地域と繋がれるよう、サービ

スの浸透を目指してほしい。認知症を抱えている家族との関わりの際、本人が置き去

りになっているので、本人を含めて地域と繋がる事が重要である。

　　　　　・進捗状況について、概ね良好であるか、挙手にて確認。

　　　　　　→挙手多数により、進捗状況は概ね良好であるとの結果。

**案件２　熊取町第５次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況検証シート（案）について**

資料７・８の読み上げを行い、計画書も確認、各委員からの質疑、意見等

　　　　・重点項目について、なぜこの５項目になったのか。

　　　　　（町）担い手の育成・支援、小地域ネットワーク活動の推進については、社協が地域と活動していく要としている内容のため、また、重層的支援体制の整備、包括的な相談支援体制の充実と総合的なケアマネジメントは、令和６年度に本格実施となったため、重点項目としている。防災・防犯対策の充実は、近年、地震等の災害が増加しており、今後しっかりと取り組んで行くべき内容であるため、重点項目としている。

　　　　　・重点項目について、１項目１目標なのか。第４次の『現計画達成状況調査シート』に

おいて評価Ｃが多いものについても、今後も行うものとして検討すべきではないか。

・１項目１目標に限定せずに、関連領域については合わせることがある。評価Ｃの項目

については前向きに検討をお願いする。

・第５次の進捗状況シートについて、達成度を数値化するかどうか確認。

（町）達成度基準の確認方法としては、第４次と同様とし、目安となるため第５次

も数値化を採用することとする。

 　　　　　　　　　　　　　　（閉会）

８ 審議会の情報 名 称 熊取町地域福祉計画策定委員会

 根拠法令等 地域福祉計画策定委員会規則

　　　　　　　　 設置期間 令和５年４月１日～令和１０年３月３１日

 所掌事項 地域福祉計画の策定に関する調査及び検討を行うこと。

 計画の進捗度の確認その他計画の円滑な推進に関すること。

 委員数 １５人

９ 担当課 健康福祉部生活福祉課（地域福祉計画）

　　　　　　　　熊取町社会福祉協議会（地域福祉活動計画）